

福島市小鳥の森通信

## しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 124

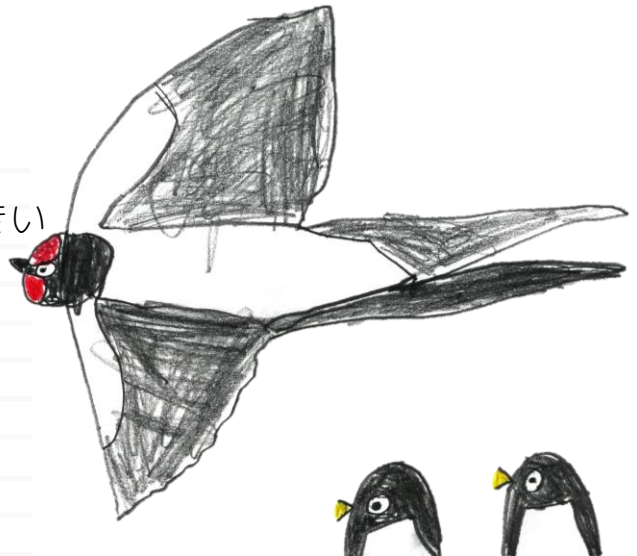
## ツバメ

分類 スズメ目 ツバメ科

大きさ 17cm スズメより少し大きい  
 なき声 チュピチュピチュピジー

小鳥の森でよく見られる時期  
 ・ 5月中旬～7月

小鳥の森で見られる場所  
 ・ 園内上空など



かとう ゆきえ さんが描いてくれました

7・8月

いきもの森予報

## クワガタムシを見つけてみよう

梅雨が明けると、いよいよ夏本番になります。夏がスタートするといろいろな昆虫が森のなかで活発に動き始めます。

夏の昆虫の代表のひとつ、クワガタムシについて少しお話ししましょう。

クワガタムシは1～2年間を朽木の中で幼虫の姿で過ごします。クワガタムシは腐葉土で育つかブトムシとは異なり、木の腐りかけた部分を食べて大きくなるのです。ノコギリクワガタやミヤマクワガタは夏に卵から生まれ、何度も脱皮をしてそのまま朽木の中で冬を越します。翌年、さらに幼虫の姿で成長し、6～7月頃に蛹（さなぎ）になります。7月を迎えると、ようやくおなじみの大アゴを持つ成虫になり、朽木から森の中へと飛び立っていきます。コクワガタは成虫のまま越冬することができるので、2～3年目の夏を過ごしている場合もあります。

樹液の出ている木には、クワガタムシやカブトムシの他にも様々な昆虫が集まってきます。夏に虫探しをするときには、甘ずっぱい匂いを頼りに、樹液の出ている木を探してみると良いですよ。

※小鳥の森での虫探りは禁止です。見つけてもその場所での観察だけにしましょう。



ノコギリクワガタ



ミヤマクワガタ

## 足元にひっそりと咲いています

雨が降る日が多くなってきました。梅雨の気配が本格的になると、どこか気持ちもどんよりすることも多いと思います。

久しぶりの晴れ間がのぞき、森を散策しました。鳥の声に耳を傾けながら、地面に目をやると、春とは違う花がたくさん咲いていました。ところどころに赤紫色の花。よく見てみるとノアザミでした。ノアザミは日当たりのよい場所に生えて、初夏から夏にかけて花を咲かせます。

次に目に留まったのはひっそりと咲く白い花、イチヤクソウでした。下向きの花をつけるのが特徴です。イチヤクソウの名前は、昔から植物全体（イチ）が薬（ヤク）になる草（ソウ）として親しまれていたことが由来です。いつも歩いている道の端に、意識を向けてみると、一味違う風に見えてきます。憂うつな気分を吹き飛ばす散策を楽しんではいかがでしょうか。



←ノアザミ

→イチヤクソウ

## スタッフだより

## ヤゴの呼吸（こきゅう）

夏になると小鳥の森の水辺や道沿いでオニヤンマの飛んでいる姿がよく見られます。オニヤンマは幼虫（以下ヤゴ）から成虫になるまで2～3年かかるため、1年を通して、沢などの水の中で色々な大きさのヤゴが見られます。

成虫は胸にある気門（きもん）という穴で呼吸をしています。水の中にいるヤゴはどのように呼吸するか知っていますか？

水の中にいるヤゴをよく観察すると、おしりから水を出し入れしているのがわかります。これがヤゴの呼吸です。水の中で生活している生き物はエラを使って呼吸しますが、ヤゴの場合、このエラがお腹の中にあるのです。この呼吸法を利用して、勢いをつけて泳ぐこともできます。

昆虫の種類によって呼吸をする場所が違うので、ぜひ調べてみて下さい！

（レンジャー ますぶち しょうた）



## お知らせ

## ザリガニ釣り開始

7月1日～8月31日まで期間、小鳥の森では、外来種のアメリカザリガニを駆除する目的でザリガニ釣りを行います。

ザリガニ釣りを希望する方は、スタッフにお声かけください。釣り竿などの必要な道具を小鳥の森でお貸しします。なお、エサは各自で準備してください。

スルメイカなどによく食いついてきますよ！皆さんでたくさんのザリガニを釣って、在来種のすむ水辺環境に戻しましょう。



\*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

\*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年7・8月合併号№435／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま

